



隠れ家

にて

jūjutsu kaisen unofficial fan book #2
ryōmen sukuna × fushiguro megumi
nanatsuzuki

成人向け
R18

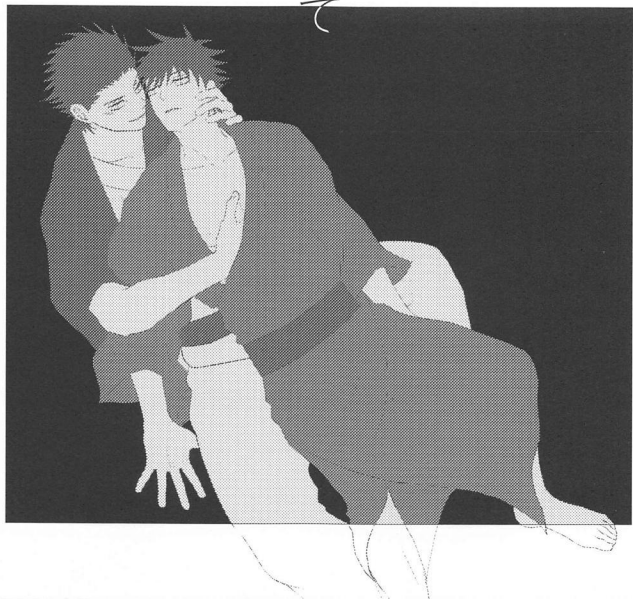


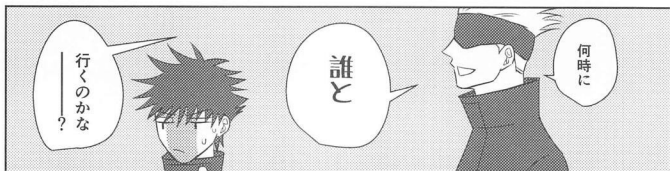
※227話までのネタバレ要素あり

※みんな生存中

※宿儻と呪術界上層部は不戦の縛り済で平和

隠れ家にて









僕への
提出は**強制**
なんだよね〜

.....何故



どうせ
野次馬根性
だろ

聞こえてるよ



そりゃ
かわいい恵が
心配だしね

9年も見守ってきた
保護者代わりとしての
純然たる責任感だ



まあ
まあ♡

これさえ
提出すれば
あとは楽しんできて
くれればいいから

.....本当ですか?





おれが
おれが
おれが
おれが
おれが

だから

高専への対応で
ちよつと遅れるって
電話を
何回も……



遅い



俺を
待たせるとは
いい度胸だ

いや
度胸とかじゃ
なくて
やむを得ず

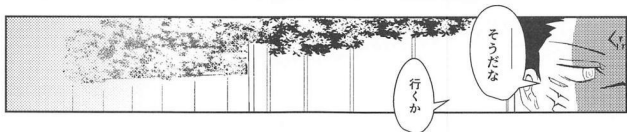
つーかオマエ
スマホ
持って来たか?

そんなものは
持たん

とか言いつつ
ちゃんこ
まきこける
んだね







宿儺はさ

花火は
見たこと
あるのか？

無い

知識として
どんなものかを
知っている
くらいだ

そっか

けっこう
いいもんだぞ

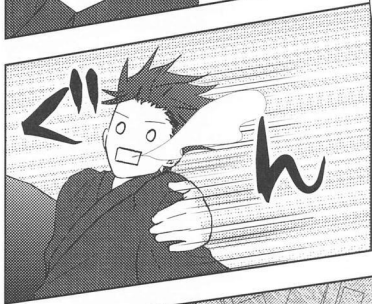
普段は
味わえない
光景が見れる

音とか
光とか

伏黒恵

それを









人間どもが
鬱陶しい時のために
いくつか
裏梅に用意させた

大げさな
ものばなく
早見
はやく
よっぽど
もつと



正確には

俺の隠れ家の
うちのひとつ



…歩き出しの
位置から
前方に二人

花火の
会場へは

けど
なんで
今ここに
来たんだ?



?



へえ……

スゲー
新発見



今回の
監視の数だ

—— 遙か後方に
もう一人

俺の後ろに
一人

オマエの
背後に一人

気づいたか？



とりあえず
撒いた

どうやら
かなり
引き離れた
ようだな



へ……



……五条先生
絶対
楽しんでるな

普段は
無視して
過ごしていたが

今回
数が多く
少々鬱陶しかった
のでな

がんばって

かー
かー
かー



つまりオマエは
監視に
気づいていながら
路上や屋外で
あんなことや
こんなことを

問題あるか？

思っている

イヤ
イヤ

の
監視



いや待て
オマエ

?!

普段は
無視して
過ごしてたって

ききかして
ならぬぞ



ある！

俺が
メチャクチャ
はずかし

その点
今は平気だな



来い

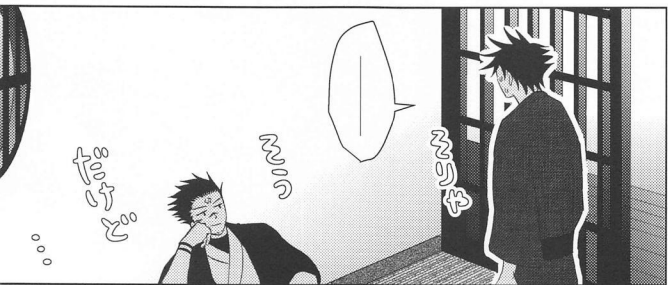


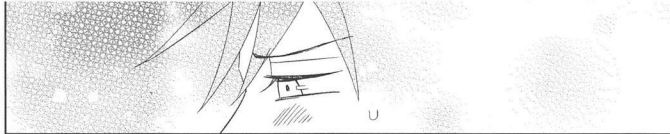
え？

ああ
まあ…

家の中
だし

監視は
まだし





照れさせろ...

時間は
あるか？



…花火か？

まだ
たぶん…

けど
ここから



！



くち

くち



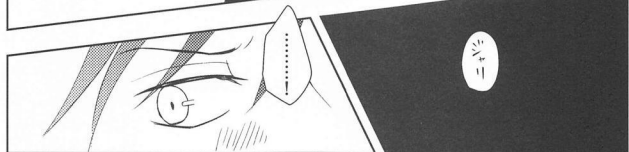
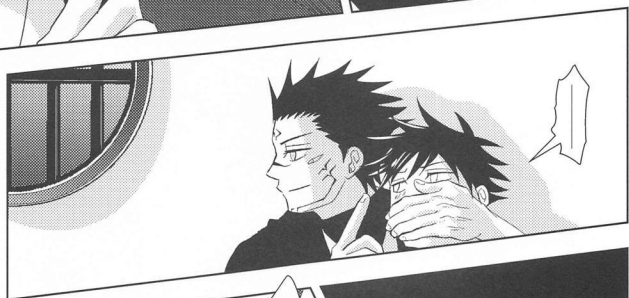
ん

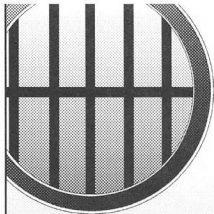


人に
聞いたって
コイツ…

う







シヤリ



シヤリ



気付か—



まさか

この家に

シヤリ

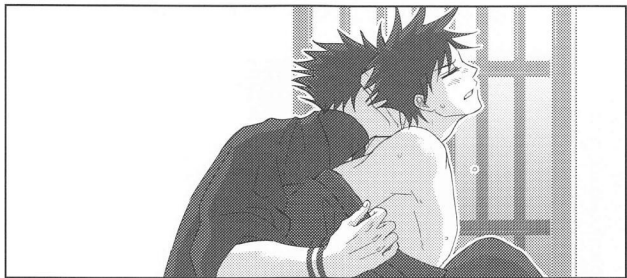


足音
……?
?

シヤリ







去ってくれ



気付かれなくない

誰にも



見られてないんだ





…いつも以上に
中が熱い

頬も
ずいぶんと
火照っているな

うるせ









オマエと

過ごしたかった
だけだ

……二人で

まさか

高専からも
縛りからも
隔絶された
場所だ



それが
叶うとはな

だから

もうちょっと

……うん



このままが
いい

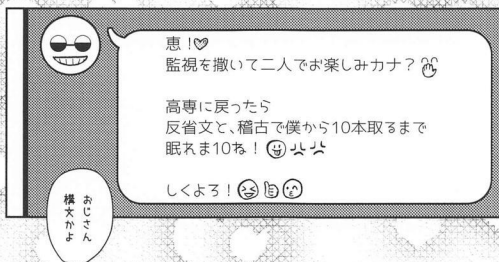
オマケ①

事後



オマケ②

事後その2



隠れ家があれば宿伏ちゃんも
エッピの場所に困らない！
隠れ家最高！
ありがとうございました！

隠れ家にて
2023/7/7

成人
指定

十八歳未満の
閲覧・購入は
お断りします

誇ノヶ原/nanatsuzuki
umiyamago@outlook.com

印刷 丸正インキ有限会社様

【無断転載/転用/複製/デジタル化/18歳未満の閲覧/
ネットオークションやフリマアプリ等への出品】禁止

同人誌の性質上、ご不要の際は
お手数ですが公式ならびに一般の方の目に
触れないよう処分をお願いいたします。



jujutsu kaisen unofficial fan book #2
ryomen sukuna×fushiguro megumi
nanatsuzuki